



©2005 石塚真一/小学館

第 264 号(令和4年(2022 年)6月8日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

### 焼岳に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を継続

[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/310.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/310.html)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

を確認し万全の準備で入山を！

#### 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス


6月1週は死亡遭難を含む7件の遭難が発生しました。この時期は、残雪によって登山道が不明瞭となっていたり、日中は気温の上昇により、暑さと湿気で体力が奪われやすくなっています。事前のルート調べをするとともに、休憩時には自分の現在位置の確認、こまめな水分・栄養補給を意識しましょう。

週末は、山菜採り遭難も発生しています。山菜採りは、山菜を採ることに夢中になる余り、急斜面に入り込んだり、自分の現在位置がわからなくなり遭難してしまいます。「山菜を採りに行くだけだから。」と安易な気持ちで入山するのではなく、必要な装備品を携行し、単独入山は控え、慎重な行動を心掛けましょう。また、複数人で入山しても、互いに声の届く範囲内で行動し、仲間同士ではぐれてしまうことのないように注意しましょう。

県内は、梅雨前線の影響により、局地的に大雨となった地域があります。登山を計画する際には、里山といえども油断することなく、天候が悪い場合には、登山の中止等を検討することも重要です。

#### 発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
5月30日	中央アルプス 大川入山	45	男	疲労	無事救出	<b>単独</b> で大川入山に登山中、疲労により行動不能
30日、単独で中央アルプス大川入山に入山した男性(45歳)が、体調不良により行動不能となる山岳遭難が発生し、消防防災ヘリが出動して男性を救助しました。						
5月30日	北アルプス 常念岳	33	男	道迷い	無事救出	2人パーティで三股登山口から入山し、蝶ヶ岳から常念岳に縦走中、道に迷い、行動不能
		26	女	道迷い	無事救出	上記遭難者の同行者

29日から2人パーティで、北アルプスに入山した男性(33歳)と女性(26歳)が、蝶ヶ岳から常念岳に縦走中、登山道を外れて行動不能となる山岳遭難が発生し、30日、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して2人を救助しました。						
5月30日	南佐久郡川上村地籍十文字峠付近	60	男	転落	負傷	2人パーティで十文字峠付近にて階段を降りる際、バランスを崩し、転落、負傷
30日、2人パーティで入山した男性(60歳)が、十文字峠付近の階段において、バランスを崩し、転倒して負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して男性を救助しました。						
6月2日	ハケ岳連峰横岳	75	女	滑落	死亡	3人パーティで横岳から地蔵の頭に向けて縦走中、滑落
2日、3人パーティでハケ岳連峰横岳に入山した女性(75歳)が、登山道から滑落する山岳遭難が発生し、県警ヘリで救助しましたが、死亡が確認されました。						
6月4日	南佐久郡川上村地籍小川山	51	女	転落	負傷	5人パーティで小川山にてロッククライミング中、足を滑らせ、転落、負傷
5人パーティで小川山に入山してロッククライミングをしていた女性(51歳)が、足を滑らせて約7メートル転落し負傷する山岳遭難が発生し、消防防災ヘリが出動して女性を救助しました。						
6月5日	蓼科山	29	男	転倒	負傷	3人パーティで蓼科山を登山中、岩でつまずき、転倒、負傷
4日、3人パーティで蓼科山を登山中の男性(29歳)が、石でつまずき右足を捻って負傷する山岳遭難が発生し、5日県警ヘリが出動して男性を救助しました。						
6月5日	下高井郡野沢温泉村水尾山付近	56	女	道迷い	無事救出	2人パーティで山菜採り中、道に迷い、行動不能
5日、タケノコ採りで水尾山に入山した女性(56歳)が、道に迷い行動不能になる遭難が発生し、飯山警察署員と志賀高原地区山岳遭難防止対策協会救助隊野沢温泉班が出動して女性を救助しました。						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～6月5日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	70	12	1	33	35	81	46
内)単独登山	23	3	1	6	13	23	10
令和3年(2021年)	62	13	0	28	32	73	41
前年同期比	+8	-1	+1	+5	+3	+8	+5
内)単独登山	-1	-4	+1	+2	±0	-1	-1

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～6月5日)

区分		件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	3	4.3%	0	0	3	0	3
	後立山	10	14.3%	3	0	3	7	13
	その他	9	12.9%	1	1	2	6	10
	計	22	31.4%	4	1	8	13	26
中央アルプス		9	12.9%	2	0	3	4	9
南アルプス		1	1.4%	0	0	0	1	1
八ヶ岳連峰		13	18.6%	3	0	9	4	16
その他の山岳		25	35.7%	3	0	13	13	29
計		70		12	1	33	35	81

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～6月5日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	26	37.1%	6	0	21	0	27
転倒	6	8.6%	0	0	6	0	6
病気	3	4.3%	2	0	0	1	3
道迷い	16	22.9%	0	0	0	23	23
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	4	5.7%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	4	5.7%	1	0	0	5	6
不明・他	11	15.7%	1	1	4	6	12
計	70		12	1	33	35	81

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～6月5日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	2	0	2	12 21.8%	0	0	0	0	0	8 30.8%	2	20 24.7%
20代	0	0	1	6	7		0	0	1	3	4		11	
30代	0	0	0	3	3		1	0	2	1	4		7	
40代	1	0	7	6	14	21 38.2%	0	0	4	0	4	13 50.0%	18	34 42.0%
50代	2	0	3	2	7		1	0	4	4	9		16	
60代	3	0	5	6	14	22 40.0%	0	0	2	0	2	5 19.2%	16	27 33.3%
70以上	2	1	2	3	8		2	0	0	1	3		11	
計	8	1	20	26	55		4	0	13	9	26		81	
比率	67.9%						32.1%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。